

項目	観点	教科書名							
		どきどきわくわくあたらしいせいかつ あしたへジャンプ新しい生活下(2・東書)	たのしいせいかつ上たのしいせいかつ下はっけん(4・大日本)	みんなとまなぶ小学校せいかつ上みんなと学ぶしゅがっこうせいかつ下(11・学図)	せいかつ上みんなとなかよしせいかつ下なかよしひろがれ[17・教出]	せいかつ上まいにちあたらしいせいかつ上そよかぜ(26・信教)	せいかつ上まいにちあたらしいせいかつ下だいすきみつけた(38・光村)	わくわくせいかつ上いきいきせいかつ下(61・啓林館)	わたしとせいかつ上みんななかよしわたしとせいかつ下ふれあいだいすき(116・日文)
1学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに生活上必要な習慣や技能を身に付けられるようにするために、どのように配慮されているか。【知識及び技能】	・単元内に「やくそく」コーナーや活動場面の児童の吹き出し、巻末に「かつどうべんりてちょう」を設け、活動に即した習慣や技能が身に付けられるように配慮されている。	・単元内の吹き出しや、巻末の「がくしゅうどうぐばこ」により、習慣や技能を身に付けられるように配慮されている。 ・「せいかつことば」「きらきなことば」のコーナーを設け、正しいことばを大切にす配慮がされている。	・巻末に学習スキルで整理した「まなびかたずかん」を設け、習慣や技能を身に付けられるよう配慮されている。	・単元内に「ヒント」コーナーを設け、学習の仕方を定着させる工夫や、巻末に「学びのポケット」を設け、生活上必要な習慣や技能を身に付けられるように配慮されている。	・単元の中に地域の人とのつながりを大切にしたストーリーを設け、地域の特性にあった習慣や技能が身に付けられるように配慮されている。	・巻末に「ひろがるせいかつじてん」を設け、児童が習慣や技能を身に付けられるように配慮している。	・単元の見開き右上の特設コーナーでマナーや安全に関する注意事項を示すとともに、巻末の資料「がくしゅうずかん」で習慣や技能を身に付けられるように配慮されている。	・単元内に「ポケット図かん」と特設コーナー、ページ左下に「本マーク」、巻末に「ちえとわざのたからばこ」を設け、習慣や技能が身に付けられるように配慮されている。
	(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現するために、どのように配慮されているか。【思考力・判断力・表現力等】	・同じ対象(場所等)と継続的に関わる体験を基に考えられるような見開きのページや、吹き出しによって、目的意識をもった表現活動例を示し、学びを深めていけるよう配慮されている。	・イラストや吹き出しで、児童の言葉を引き出す工夫や動作化・劇化など多様な表現方法を例示して、子どもの実態に合わせた表現活動ができるように配慮されている。	・つぶやきや吹き出しによって、考えを表現する例を提示したり、感謝の思いを伝える活動を取り入れたりすることで、関わりの中で考え表現できるように配慮されている。	・キャラクター「いぐら」により、子どものつぶやきを表現したり、自らの活動を振り返り、表現するページを設定したりすることで、自分の考えや学びを表現する活動ができるように配慮されている。	・地域に根ざした対象との関わりやふれあいにより、地域ならではの探求活動及び学び合う活動の場を設定し、学びを深めるように配慮されている。	・単元内に活動のヒントとして「どうすれば」コーナーを設けると共に、表現活動の例を示し、考え・表現できるように配慮されている。	・単元の導入で思いを高める呼びかけを提示し、多様な学習活動や表現方法を例示することで、思考力・表現力が高まるように配慮されている。	・考える契機となるような例文をページ左下の「電球マーク」内や、児童の会話の吹き出しに示すことにより、思考を促すように配慮されている。
	(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりする態度を養うためにどのように配慮されているか。【学びに向かう力、人間性等】	・学習や生活を「つたえよう」のページを設け、友達と互いのよさを認め合う活動を例示したり、児童の吹き出しにより学びに向かう具体的な姿を示したりして学習へ取り組む態度を育成するように配慮されている。	・上巻の「たんけんカメラ」や下巻の「たんけんライト」などで、学習の視点を明確にして自ら学びに向かうように配慮されていると共に、児童の吹き出しや振り返りの板書例により学びに向かう姿が具体的に示されている。	・章末の「ものしりノート」を手がかりに自分で考え学習を進めたり、自分たちの生活につながる例が示されていたりして、学習に自ら取り組めるように配慮されている。	・単元末の「なにをかんじたかな」で自身を振り返ったり、「まんぞくはしご」で自己評価したり、「もしものコーナー」で視野を広げたりすることができるよう配慮されている。	・地域の四季の様子や人々と関わる場面を示すことで、身近な自然や人々に自ら働きかける態度を養えるよう配慮されている。	・「ジャンプ」のページに振り返りの言葉を書き込んだシールを貼ることで、単元ごとの振り返りをしたり、一年間の成長を実感したりすることができるよう配慮されている。	・単元末に「ぐんぐん」のページで自分の学習を振り返り、成長を実感したり、小単元ごとに「めぐりことば」を設け、活動や思いをつなげ、意欲を高めるように配慮されている。	・ページ下に「赤ハートマーク」、ページの右下に「ふりかえる つなげる」コーナーを設けることで、学習を振り返り、学びに向かう姿を具体的にわかるように配慮されている。
2内容の程度及び取り扱いについて	(1) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとするという、身近な生活に関わる見方・考え方を生かすために、どのような工夫が見られるか。	・活動のめあての文字を大きく、そして写真を目立つように配置することで、児童がこれまでに体験してきたことを想起しながら考えたり活動したりできるような工夫が見られる。	・地域の方や家族とふれあう写真やイラストが数多く掲載されていたり、学習した内容を生かして自分の生活を豊かにしようとする姿が示されていたりして、日常生活を意識しながら学習を進められる工夫が見られる。	・活動場面を表す写真・イラストや「にこにこ」のページから、児童が身近な生活との関わりを主体的に学習できるような工夫が見られる。	・単元末に振り返りを児童自身が記入するコーナーや「伝えたいな」が設置され、身近な生活に関わる工夫が見られる。	・活動場面のイラストの中に簡潔な言葉による見出しが付けられ、写真と一緒に見ていくことで、体験で得た見方・考え方を生かせるようにするような工夫が見られる。	・単元末に「もっとやってみたい」コーナーを設け、身近な生活に関わる意欲を高めるような工夫が見られる。	・振り返りのページ右下に「ひろがるきもち」コーナーを設け、児童がよりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする態度を育てる工夫が見られる。	・児童のつぶやきのイラストや写真によって、これまでの経験や前学年の学習を想起させ、見方・考え方に生かせるような工夫が見られる。
	(2) 主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫が見られるか。	・目立つめあての文字や伝え合うページや「ふりかえり」のページで、主体的・対話的で深い学びに向かわせる工夫が見られる。 ・下巻では学びのプロセスを活動のイラストで示し、「学びを深める」コーナーで学びの姿を示す工夫がみられる。	・単元導入に活動場面の写真を大きく載せたり、めあてを目立つようにしたりすることにより、児童の主体的学びを引き出す工夫が見られる。 ・諸感覚や活動を誘発する吹き出しや伝え合う場面をイラストで示し、深い学びへ向かわせる工夫が見られる。	・4人の児童同士が対話し試行錯誤する姿や、教師が児童の活動を見守る姿勢をイラストで示すことなどを通して、児童が主体的に深い学びに向かうためのの工夫が見られる。	・各ページに「気付く」「考える」「挑戦する」などのめあてを示すとともに振り返りのページを設定することで、学びの深まりを促す工夫が見られる。	・試行錯誤の場面を写真や吹き出しで示して探求意欲をもたせたり、振り返りの手がかりとしたりして、気付きの質を高める工夫が見られる。	・ホップ・ステップ・ジャンプの3段階構成で見通しをもたせたり、考えや気付きの視点をとらえられるような発言を吹き出しで示したりして、学びを深める工夫がみられる。	・「比べる」「試す」「工夫する」などの多様な学習活動や、巻末資料内に「ともだちとかんがえをふかめよう」のページ等を通して、主体的・対話的に取り組める工夫が見られる。	・イラストや写真の吹き出しから、学びの基礎を身につけられるように工夫されていると共に、考えるための技法を、巻末資料の中に「かんがえるわざ」として示すことで、学びを深める工夫が見られる。
	(3) 合科的・関連的な指導を進めるために、どのような工夫が見られるか。	・上巻では、スタートブックの中で、他教科のつながりを絵記号で示し、下巻では、教科名を明記し、キャラクターの吹き出しにより、他教科とのつながりを意識しながら学習に向かうようにする工夫が見られる。	・合科的・関連的指導が効果的と思われる場面に教科名が入ったマークを掲載することで、学習のつながりが分かるような工夫が見られる。	・他教科に関する内容を図やイラスト・写真で掲載し、つながりを意識しながら授業を展開できるようにするための工夫が見られる。	・他教科の知識や技能を整理した巻末に「学びのポケット」を掲載したり、コラム「はってん」で中学年へのつながりを示したりする工夫が見られる。	・他教科の学習場面を想定した写真やイラストを示すなど、つながりを意識しながら総合的に授業を展開できるようにするための工夫が見られる。	・特に入学当初の単元において、他教科の学習につながるきっかけを写真等で示すなど、関連的な指導を進めやすくする工夫が見られる。	・巻頭のスタートブック内に他教科との関連がある活動には、具体的な教科名のマークが示され、巻末の「がくしゅうずかん」には、関連的な学習活動が示されている工夫が見られる。	・他教科との関連を活動場面の写真やイラスト、振り返りカード例に示している工夫が見られる。
3構成・配列・分量	(1) 単元の構成や教材の配列にはどのような特色があるか。	・四季の変化を意識しながら生活や学習活動ができるとともに、単元末に「やってみよう」を設置し、学習に発展的・選択的に取り組めるような単元配列に特色がある。	・四季の変化を感じることができる配慮があり、単元の中に地域や学校の実態に応じた活動が選択できるように多様な活動を例示している特色がある。	・素材や教材が数例提示され、地域や児童の実態に応じた選択できる単元構成で、学習時期を組み替え、軽重をつけられる単元配列に特色がある。	・アイコンにより、「きづく」「考える・伝える」「自分でできる」「ちようせんする」「じしんをもてん」などの小単元ごとの流れがわかりやすく提示され、児童の学習への見通しと意欲を喚起できる単元配列に特色がある。	・地域との関わりを重視した単元構成になっており、四季を身近に感じさせ、児童の感覚に寄り添いながら学習できる単元構成に特色がある。	・全単元をホップ・ステップ・ジャンプの3段階で構成し、学習のスタートからゴールまで児童が見通すことができると共に、巻末の「ジャンプだいしゅうこう」により、自分の年間の活動が振り返れる単元構成に特色がある。	・わくわくーいきいきーぐんぐんの3段階の単元構成になっており、単元が進むにつれ活動が広がり、深まっていくような単元配列に特色がある。	・下巻にもスタートカリキュラムを設け、学びの連続性を重視すると共に、ページ下に育成すべき3つの資質能力を学習のめあてとして提示し、学びの内容をわかりやすくする単元配列に特色がある。

	(2) 単元や教材の分量には、どのような特色があるか。	・季節の変化と生活に関する内容を、上巻で多く取り上げるだけでなく、下巻でも季節ごとに繰り返し、取り上げている特色がある。 ・巻末の「ポケットずかん」や「かつどうべんりてちょう」で必要な資料を分けて取り上げている特色がある。	・上・下巻ともに、栽培に関する内容は適した時期ごとに分け、繰り返し掲載し、季節と生活に関する内容を多く取り入れているとともに、巻末の資料で多くの内容を取り上げている特色がある。	・上・下巻ともに、花や野菜の栽培について、種まきから収穫・活用までを1単元にまとめて掲載し、ページ数も多く取り上げている特色がある。	・上巻では身近な生活に関する内容を、下巻では町探検を中心に、地域と生活に関する内容を多く取り上げている特色がある。	・動植物の飼育・栽培を時期ごとに繰り返し扱うとともに、季節の変化と生活については、地域の伝統行事等も含めて多く取り上げている特色がある。	・季節の変化と生活については、季節ごとに扱うページに加えて季節の変化をまとめて振り返る折り込み見開きページを設け、多く取り上げている特色がある。	・上巻初めの「すたあとぶつぐ」、下巻終わりの「3年生へのステップブック」等、前後の学習とのつながりを意識して取り上げている特色がある。	・下巻では自然や物を使った遊びに関する内容を多く取り上げるとともに、上・下巻ともに巻末の資料を多く取り上げている特色がある。
4表記・表現	(1) 用語や記号、レイアウト等について、どのような工夫が見られるか。	・小単元ごとに本時のめあてを目立つ位置に配置し、児童の吹き出しや姿、表現作品により育てたい資質・能力を具体的に表している工夫が見られる。	・見開きごとに風船マーク内に一つの活動内容を端的な言葉で表現し、児童の気付きや活動のヒント等は児童の吹き出しとして表記する工夫がみられる。	・単元導入では児童の思いや願いを基にした活動の見通しを表記し、小単元はめあてと活動を想起する言葉で表現する工夫が見られる。	・単元名や小単元名は、協調したい言葉にマークを付けたり色を変えたりして表記し、サイコロのアイコンにより、活動で育成する資質能力を示す工夫が見られる。	・小単元名は、児童の思いや願い、活動内容等を表す短い言葉で定位置に示され、詩や物語風の文章を縦書きで表記する等の工夫が見られる。	・小単元名は、主体的な活動を促す言葉で表現され、手書き風の柔らかい書体の吹き出しによる対話場面で日常生活から学びにつなげているような工夫が見られる。	・小単元名は、意欲が増すように活動を具体的に示し、活動中の気付きや次時への思いを「めくり言葉」として表記する工夫が見られる。	・小単元ごとにめあてや児童の疑問(学習課題)を定位置に配置し、「はっけんカード」等児童作品の例示により、主体的な活動を促すと共に、参照ページを示すことで学びが広がるような工夫が見られる。
	(2) 写真や挿絵、図表等について、どのような工夫が見られるか。	・表情を捉えた写真など多様な写真を導入することで児童の思いや願いを膨らませたり、ページ左端をカットし、花の生育が連続的に比較できたりすることで、学習内容や活動をわかりやすくする工夫が見られる。	・モノクロページとカラーページを対比したり、見開きで写真のみのページを設けたり、絵本のような挿絵を使ったりすることで、児童の意欲を高める工夫が見られる。	・上・下巻を通して、同じ4人の児童の挿絵を用いることで、児童同士の関わりや成長が伝わりやすくなるような工夫が見られる。	・絵本で始まる導入で、これからの学習に期待を持たせるとともに、「はてなキャラクター」等を用いて気づきの質を高めようとする工夫が見られる。	・動物(やぎ)を飼育し、ふれあう様子の写真や、季節ごとの風景や地域の行事の様子を見開き全面に示したイラストや写真で、児童の関心を高める工夫が見られる。	・3段階の学習活動を見出しやキャラクターで示したり、四季の風景をまとめて見開きにしたりして、興味関心を喚起する工夫が見られる。	・3段階の学習活動をページごとに色分けし、活動内容を写真やイラストで具体的に示すことで、主体的な学びを促す工夫が見られる。	・本マークなどのアイコンで学習活動等を示すことで、その時間のねらいをわかりやすくしたり、やまおり加工により、植物の成長過程をひとめで見ることができたりする工夫が見られる。
5体裁・使用上の便宜	装丁や使用上の便宜等については、どのような工夫が見られるか。	・A4判を使用し、変形判ページを取り入れたり、実物大植物図鑑(ポケットずかん)を取り外せるようにしたりして、児童の意欲を高める工夫が見られる。	・AB判を使用し、手で触って楽しむ表紙や探検カメラシート、透明シートなど、児童の感性を刺激し、好奇心を引き出す工夫が見られる。	・A4変形判を使用し、導入ページ「がっこうだいすき」は、イラストと短い文のみで構成するなど、児童の興味関心を喚起する工夫が見られる。	・AB判を使用し、目次で学習時期を示して見通しをもたせたり、巻末資料の内容に関連教科を示し、各教科とのつながりがわかるようにしたりする工夫が見られる。	・AB判、右開き縦書きを使用し、同じ場所の季節ごとの変化を示した折り込みページを配置して、児童の興味関心を喚起する工夫が見られる。	・AB判を使用し、折り込みページの資料や自分の学びを振り返るシールを挿入し、児童の興味関心を高め、達成感を味わわせる工夫が見られる。	・AB判を使用し、上巻には、小寸で角を丸く裁断した「すたあとぶつぐ」が挿入されていると共に、下巻には「みらい」に向かって」を挿入し、3年生とのつながりを大切にする工夫が見られる。	・AB判を使用し、角を丸く裁断した特設ページ「いちねんせいになったら」や盛り上がり印刷を施した点字体験ページを設け、児童の興味関心を高める工夫が見られる。